

事業目的

沖縄には地理的歴史的背景から独自の食文化が育まれてきたが、食を取り巻く環境の近代化により「沖縄の伝統的な食文化」が急速に失われつつある。そのため「沖縄の伝統的な食文化の普及推進計画(H29-33年度)」を策定し、貴重な文化資源である食文化の保存・普及・継承を通じ、沖縄の伝統的な食文化を次世代へ継承するとともに、観光資源として活用に繋げるための施策を講じる。

事業内容

(1) 担い手育成講座の開催

実務経験年数10年以上の調理師、栄養士を対象に、琉球料理の調理実習と座学からなる講座を開催し、沖縄の伝統的な食文化の担い手を育成する。

(2) 講座修了者による出前講座の開始

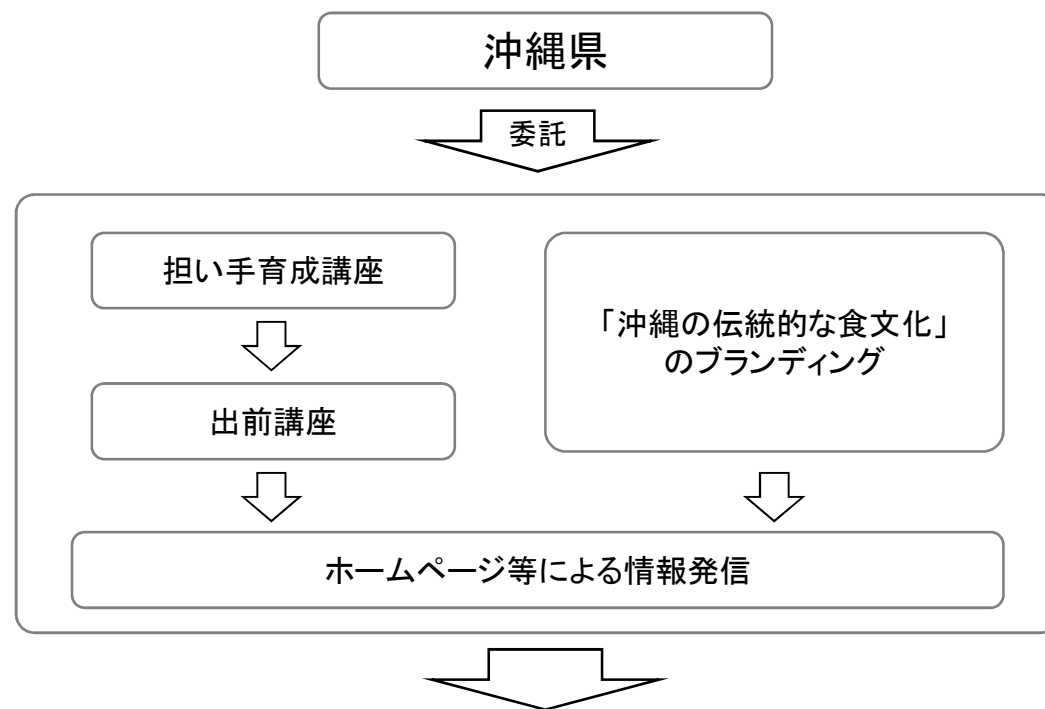
担い手育成講座の修了者を活用し、各地域で出前講座やワークショップ等を開催することにより、食文化の次世代への継承について考える場を創出する。

(3) 沖縄の伝統的な食文化のブランディング

沖縄の伝統的な食文化を、健康長寿という視点から検討するとともに、日本遺産登録に向けた取組等により、ブランディングを図る。

予算額 18,402千円

事業イメージ



沖縄の伝統的な食文化の次世代への継承及び観光資源としての活用